

人気作家 汐見夏衛の新作が登場！

野いちご単行本新刊2点 10月25日(月)全国書店にて発売開始！

小説投稿サイト「野いちご」「Berry's Café」「ノハマ！」を運営するスタート出版株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：菊地修一）は、野いちご単行本を2021年10月25日（月）より全国書店にて発売開始いたします。

■単行本新刊情報 <https://www.no-ichigo.jp/bookstore/book/202110>



## 『雨上がり、 君が映す空はきっと美しい』

汐見夏衛(しおみなつえ)/著、イラスト:いちご飴  
税込 1,430円、ISBN: 978-4-8137-9080-8

【あらすじ】 友達がいって成績もそこそこな美雨は、昔から外見を母親や周囲にけなされ、目立たないように”普通”を演じていた。ある日、映研の部長・映人先輩にひとめぼれした美雨。見ているだけの恋のはずが、先輩から部活に誘われて世界が一変する。外見は抜群にいいけれど、自分の信念を貫きとおす一風変わった先輩とかかわるうちに、”新しい世界”があることに気づいていく。「君の雨がやむのを、ずっと待ってる——」勇気がもらえる感動の物語！



## 『上書き保存のできない、 たったひとつの恋だった。』

Sytry(しとりー)/著、イラスト:松本ぼっくり  
税込 1,540円、ISBN: 978-4-8137-9102-7

【あらすじ】 勉強も人付き合いもうまくできるけれど、本気で人を好きになったことがない。そんな蒼は、大学卒業後に就いた職場で、後輩の遙と出会う。意味のない上下関係は大嫌いで、「それでいい」よりも「それがいい」と言える人が好き。同じ曲を、お守りのように聴いていた。——嘘みたいに共通点の多いふたりは、出会った夜から、恋人同士のような深く甘い関係にのめりこんでいく。でも、「恋人になろう」とは、あと一歩のところと言えない。それには、秘められた理由があつて…？あの日の自分を重ねずにはいられない。痛いほどの共感にふるえる、恋愛物語。